



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第186号 (平成 30 年 2 月 5 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ ～五感でつなげる世界の輪～」の参加者募集について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(127)
- 3 <森林・林業白書から>火山噴火など山地災害への対策
- 4 <樹をとりまくはなし>(7) 良かれと思って水たまりーモミノキー
- 5 <イベント情報>
◆緑のボランティア活動 助成セミナー2018
◆木質バイオマス利用成果報告会
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ ～五感でつなげる世界の輪～」の参加者募集について
-

平成 30 年 3 月 24 日(土曜日)に、東京都江東区の木材・合板博物館において開催する「国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ ～五感でつなげる世界の輪～」に参加する方を募集します。

本イベントは公開で、カメラ撮影も可能です。

1 概要

平成 24 年(2012 年)12 月に開催された国連総会において、森林や樹木に対する意識を高める記念日として、毎年 3 月 21 日を「国際森林デー」とすることが決議されました。

これを記念して、毎年イベントを行っており、今年度は平成 30 年 3 月 24 日(土曜日)に「国際森林デー2018 みどりの地球を未来へ ～五感でつなげる世界の輪～」を木材・合板博物館(東京都江東区)で開催します。

当日は、各国の駐日大使館・国際機関の職員やその家族、留学生を招待し、ミニコンサート、映画「うみやまあひだ」の上映会、木の小皿やバターナイフを作る木工教室、留学生との交流会、木材・合板博物館見学会を行います。

このイベントの一般参加者(4歳以上)を募集しますので、下記により御応募ください。

本イベントを通じて、人種、民族、国籍を超えて交流を深め、樹木に親しむ機会をともにすることで、森林を尊ぶ心を世界に広げます。

2 開催日時及び場所

日時:平成30年3月24日(土曜日)13時00分~16時00分

会場:木材・合板博物館(東京都江東区新木場1-7-22新木場タワー)

3 主な内容

第1部 開会式~オープニングセレモニー~(ミニコンサート)

第2部 映画「うみやまあひだ」上映会、木工教室(ワークショップ)、
留学生との交流会、木材・合板博物館見学会

4 募集予定人数

200名(4歳以上、中学生以下のお子様は保護者の方と御参加ください。)

5 申込要領

(1)申込方法

参加を希望される場合は、代表者の氏名、郵便番号・住所、電話番号、参加希望者全員の氏名・年齢、第2部で木工教室を希望する場合は、参加希望者の氏名とお子様の学年を記入の上、郵便はがき、FAX、又は電子メールにて、お申し込みください。

参加費は無料です。先着順で受付を行い、招待状を郵送します。

〈お申込先〉

郵便はがき :〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-2-5 新宿ウエストビル 3F セレスポ新宿営業所 国際森林デー2018 係

FAX 番号:03-5937-3603

(件名に「国際森林デー2018 係」と記載してください。)

電子メールアドレス : kokusaishinrin2018@cerespo.co.jp

(件名に「国際森林デー2018 係」と記載してください。)

(2)申込締切

平成30年3月12日(月曜日)必着

(3)申込みに関するお問合せ先

公益社団法人森林文化協会内国際森林デー2018 中央行事実行委員会事務局

TEL:03-5540-7686(平日10時00分~17時00分)

6 主催

国際森林デー2018 中央行事実行委員会

(公益社団法人国土緑化推進機構、公益財団法人森林文化協会、公益財団法人オイスカ、NPO 法人樹木・環境ネットワーク協会、林野庁)

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(127)

保育士を目指す大学生たち8人とムーンウォークをしてきました。場所はいつも観察をしている北海道名寄市の健康の森です。スノーシューを履いていますが、粉雪が降り続けているので、膝くらいまで雪に沈みます！ということで、クロスカントリーのコースを歩きました。この日の日本列島は「大雪！寒波襲来！」のニュースが飛び交ってしま

たが、名寄は普段通りの雪の夜です。空を見上げると、なんと、「おぼろ上弦の月」が見えるではないですか！薄ぼんやりと見える森は静まり神秘的、遠くに見える市街地の明かりはブルーライトになり、まるで夜明け前の空に見えました。キツネの足跡を探したり、クリスマスツリーのような雪化粧したアカエゾマツを眺めたり静かな時間が過ぎました。体が冷えたのでティータイム、暖かいミルクティーを飲んで体も心もほっこりしました。寒い夜だからこそ楽しめました！

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から>火山噴火など山地災害への対策

平成 26(2014)年7月に台風第8号及び梅雨前線の影響により発生した長野県木曾郡南木曾町梨子沢等の土石流等の山地災害と、同9月に発生した御嶽山の噴火による火山災害は、木曾谷地域に 甚大な被害をもたらした。

中部森林管理局では、速やかに被災状況を把握し、地元の地方公共団体に情報提供したほか、二次災害を防止するため、土石流発生のおそれの高い現場付近に監視カメラ、雨量計、サイレン等を設置するとともに、新たな治山ダムの設置及び破損した治山ダムの補修を行うなど、様々な災害対策を実施した。

これらの取組が二次災害の防止や地域住民の安全・安心の確保に大きく貢献したとして評価され、中部森林管理局計画保全部治山課、木曾森林管理署、同署南木曾支署は、平成 29(2017)年2月に平成 28 年度人事院総裁賞注を受賞した。

注：多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる国家公務員に対し贈られる賞。

(平成28年度森林・林業白書 コラムから)

4 <樹をとりまくはなし>(7) 良かれと思って水たまりーモミノキー

老人ホームの建物の中にモミノキがシンボルツリーとして植えられていました。以前は葉も茂り特に世話もしていなかったようですが、最近剪定をしてから葉が黄色くなり、枝が枯れ、どんどん元気がなくなったそうです。

建物の中に植えられているので、排水がどうなっているのか聞くと、「たぶん無い。」と言われました。職員の方はモミノキが元気がないからとせっせと水やりをしたらしいのです。排水が十分でないとしたら、水がたまって、根が呼吸できず、根腐れを起こしてしまいます。たぶん剪定により葉が少なくなり、根が弱り今までより水が吸えなくなり、その上元気がないと水やりされ、水がたまり根腐れを起こし、より水を吸えない状態になったのではないかと思います。良かれと思って、さらに環境を悪くすることって意外とあります。もし排水が良ければ、いくら水をやってもこれほど衰退することはなかったでしょう。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

◆緑のボランティア活動 助成セミナー2018

◆木質バイオマス利用成果報告会

◆緑のボランティア活動 助成セミナー2018

国土緑化推進機構では、平成 30 年度「緑の募金」及び「緑と水の森林ファンド」で助成支援する緑のボランティア活動を募集します。(2月 15 日～3月末日締切)

「緑の募金」と「緑と水の森林ファンド」では、新たな助成メニューと重点事項を定め、子どもたちの森づくりや次世代育成を支援します。

この助成プログラムの紹介と相談会、「次世代につなぐ森林づくり」をテーマにした助成セミナーを開催します。

シニア世代から親子世代まで多様な方々を森林づくり活動に巻き込み企画運営の担い手となるよう工夫して成果をあげている事例等から今後の森林づくりの可能性と活動のヒントやコツを共有します。

☆ 参加者には、冊子『森林・里山と人がつながる社会をめざしてー次世代につながるプロジェクト運営と組織づくり』をプレゼントします！

【日時】2018 年2月 16 日(金)、2月 17 日(土)

【会場】弘済会館 4階(東京都千代田区麴町5-1)

【主催】公益社団法人 国土緑化推進機構

【内容】

○ 2月 16 日(金) 13:00～17:45

助成プログラム紹介、協力企業報告、活動事例紹介、ポスター展示、相談会、
(終了後 交流会あり)

○ 2月 17 日(土)9:30～14:00

話題提供、テーマ別セッショントーク、総括

【詳細・申し込み】下記 URL からお願いします。(FAX・メールでも可)

<http://www.green.or.jp/bokin/18021617bokin>

◆木質バイオマス利用成果報告会

(林野庁補助事業 新たな木材需要創出総合プロジェクト事業)

(地域内エコシステムの構築)成果報告会開催のお知らせ

<http://wb-ecosystem.jp/>

小規模な熱利用又は熱電供給により、森林資源をエネルギーとして地域内で持続的に活用していく、「地域内エコシステム」の構築に向けた実現可能性調査(F/S 調査)の結果について報告します。

【日時】2018 年 2 月 23 日(金)13:30～16:30

【場所】主婦会館プラザエフ 8 階会議室「スイセン会場」

(東京都千代田区六番町 15、JR「四ッ谷駅」麴町口 徒歩 1 分)

[http:// plaza-f.or.jp/ index2/ access/](http://plaza-f.or.jp/index2/access/)

【内容】

1 成果報告(実現可能性調査の対象地域)

①夕張市(北海道)「チップによる熱利用について」

②関 市(岐阜県)「薪・チップによる熱利用・熱電併給について」

③智頭町(鳥取県)「薪による熱利用について」

FS 調査(実現可能性調査)対象地域として選定された上記 3 地域の担当者の方々により、取り組み内容についてご説明していただきます。

2 「地域内エコシステム」の普及に向けて～課題と展望～

日本森林技術協会・森のエネルギー研究所

今後、木質バイオマスエネルギーを地域づくりに活かしたいとお考えの皆様にも、F/S 調査結果から見えてきた留意点について、ご報告します。

コメンテーター

今富 裕樹 氏(東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科 教授)

久木 裕 氏(バイオマスアグリゲーション 代表取締役)

久保山 裕史 氏(森林総合研究所 林業システム研究室 室長)

田内 裕之 氏(森と里の研究所 代表)

【詳細】[http:// wb-ecosystem.jp](http://wb-ecosystem.jp)

【主催】林野庁・日本森林技術協会・森のエネルギー研究所

【事務局】日本森林技術協会・森のエネルギー研究所

《申し込み方法》

参加費:無料

定員:100 名(先着順)

申込締切:2018 年 2 月 21 日(水)まで

お名前(フリガナ)、メールアドレス、所属及び「2018 年 2 月 23 日 成果報告会 参加希望」とご記入の上、以下よりお申し込みください。

Web サイト: [http:// wb-ecosystem.jp/ form.html](http://wb-ecosystem.jp/form.html)

FAX : 03-3261-3840

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

東京地方に先々週に降った雪で除雪などで日陰に集められた雪がまだ残っていると

ころがあります。この 2 週間あまり気温が上がらなかったためでしょう。今冬は、全国的に寒さが厳しいようで、今も西日本の日本海側では大雪が降っているようです。

また、インフルエンザも大流行しているようです。私も外出時のマスク、手洗い、うがいを励行していたのですが、既に B 型に罹患してしまいました。皆様も罹患しないよう十分に注意してください。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局

TEL: 03-5840-7471 FAX: 03-5840-7472 E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)

URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

